



〒894-3192 鹿児島県大島郡大和村大和浜100

議会だより

第72号

令和2年2月発行

編集：議会広報委員会

発行：大和村議会

☎ 0997-57-2216(直)

FAX 0997-57-2967



毎年恒例のひらとみ朝市

毎年恒例のひらとみ朝市が、昨年の12月28日に思勝港緑地広場にて盛大に行われました。今回は売り出し時間がいつもの午前7時から9時になり、お客さんからも好評でした。また、毎年大人気の福元だいこんなどにお客さんは目を輝かせ、会場は大賑わいでした。

主 要 内 容

一般質問（4人）	2～5
平成30年度決算を認定	6
平成30年度 決算審査委員長報告	7～9
第3回定例会	10～11
議会の動き・編集後記	12

第3回 定例会 一般質問

令和元年第3回定例会（9月）において、4名の議員が※一般質問を行いました。なお、質問議員の質問及び当局の答弁につきましては、誌面の都合上全部は掲載できませんので、一部を抜粋していただきますのでご了承ください。

※一般質問とは、議員が村の行財政全般について、事務の執行状況や、将来について方針等を聞き、疑問点を質すことです。本村議会の一般質問の持ち時間については、一人1時間です。
（9月12日 本議会）

4議員が村政を問う!!

果樹振興について

現在、農業及び果樹生産者に対し、肥料購入助成、苗木購入助成等多くの助成措置が講じられているが、果樹肥料価格は現在の助成制度でも高額であり、助成金の増額は必要ではないか。

（答弁） 肥料の助成額増額については、今年度には



奥田 忠廣 議員

において、栽培面積に応じた形で変更したので、状況を見ながら検討していきたい。

クロウサギ飼育計画について

来年度にも、奄美群島世界自然遺産登録実現が迫っているが、環境省及び文化庁などの現在までの協議はどのような状況なのか。

（答弁） 現在、飼育研究施設実現に向けた基本構想の策定のため、調査事業を委託している。文化庁や環境省には事前説明を行っていて、今後、アマミノクロウサギ飼育研究施設設置に向けた検討会を開催し、進捗報告を

行っていくたい。



果樹振興のための効果的な肥料助成を！

今後の公共工事入札について

大和村民の大半は公共工事によって所得を得ているが今後はどのような発注計画を立てているのか。

(答弁) 現在、社会資本

整備総合交付金事業により村道大棚名音線改良事業、村道福元湯湾線道路改良事業等の整備を継続的に行っている。今後も集落排水事業等も順次行



重 信 安 男 議員

い、継続事業の早期完成に努め、村内の防災・減災のためにも、公共工事を推進していきたい。

村・県発注の入札において、最低制限価格の受注制度があるが、今後検討する必要があるのではないか。

(答弁) 本村における最

低制限価格の算定方法は、国の基準に定められた算定方式により算出している。今後、国の基準見直

しがある場合は、その都度見直しを行い、現在は適正な価格での設定と考えており、見直しは検討していない。

村内県発注入札にて、村内業者と入札価格が同額になり、くじ引きと聞いているが、村内業者だけで指名入札はできないか。



本村の公共工事の重要性を問う！



(答弁) 対象工事により、指名業者を10社以上指名する必要があるため、村内の業者だけでは10社に満たないため、指名区域外からの業者も入札に参加をさせている状況であるので、村内業者だけの指名については難しいと考える。

防災対策について

全国的に消防団のなり手が不足する中、本村においても、消防団欠員の集落が見られますが、行政としてどのような対策が考えられるのか。

(答弁) 欠員の対応については、消防団幹部や消防分駐所並びに集落と連携を図りながら、欠員補充に努めていきたい。



前田 清和 議員

各集落に設立している自主防災組織と消防団との連携について、どのように考えているのか。

(答弁) 自主防災組織としての集落民の協力も必要なことから、消防分駐所や消防団を中心に各集落において、救急講習会等を実施している。今後、各集落における防災意識の向上に努めていきたい。

空き家・廃屋対策について

県内において、この20年間で約2倍に増えてきている空き家・廃屋問題について、行政としてどのような見解をし、どう取り組んでいるのか。



空き家、廃屋解消対策は！

(答弁) 廃屋について、集落から廃屋所有者への取り壊しを促してもらうなど、集落と一体となつて廃屋化防止策に努めていきたい。

ゴミ対策について

(一) 数本本村において、

県道及び人目につかない村道や農道に見られるゴミのポイ捨てが目立っている。観光振興を進める上で、行政としてどのように考え取り組んでいるのか。

(答弁) これからは、ひとりひとりの環境美化意識などモラルの向上が景観向上にもつながり、引いては観光振興にもつながっていくと考える。

村営住宅改修について

人為的過誤やミスによって修繕を余儀なくされる場合、その際にかかる費用はどのようになるのか。

(答弁) 人為的過誤やミスにより修繕が必要とされる場合、その原因調査を行った上で、入居者と修繕費用の負担等の協議を行っている。



蔵 正 議員

国立公園指定のヒエン浜や戸円集落の海岸の保全について

ヒエン浜の砂がほとんど見られない状態になつており、戸円集落沖の海砂採取が長年続けられているが、影響がないとはいえないのではないかと。少しでも関連性があるとすれば、採取を不許可とするべきではないか。

(答弁) 海砂採取と自然環境への関連の調査結果について、海砂採取が直接的な原因になっている

という判断には至っていない。

戸円沖の海砂採取はいつから始まり、年間の採取量はどれくらいで、累計の量はいくつなのか。また、関連性の調査や、他に海砂を採取出来る場所はないのか。また、採取場所があるとしたら、数年ごとの持ち回り採取にしてはどうか。

(答弁) 海砂採取のデータについては、昭和57年から平成29年度までのデータで、120万4550立方メートルが採取され、

令和元年度は3万2千立方メートルで計画している。また、新たに採取できる場所も奄美大島近海において、困難でないかと考えている。

大和の園について

施設老朽化に伴う移転または民営化についての協議は始まっているのか。

(答弁) 平成30年5月から、村内の保健・医療・福祉・介護の関係団体で構成する保健福祉課・大和診療所・社会福祉協議会・大和の園のあり方検討会で、移転や民営化や介護サービスなどの方について協議を行っている。

施設と同様に、介護機器類も古い機材になつていないか。近隣の民間施設との競合対策として視察調査等も必要ではないか。最新の介護機器についての情報を得る手段を持つべきではないか。



大和の園の施設老朽化に対する対策はあるのか？

(答弁) 大和の園の機材も老朽化してきているので、財政面を考慮しながら、入所者が快適な生活が送れるように現在に見合うよう対応していきたい。

臨時職員の処遇改善は図られているのか。

(答弁) 現在、国からの支援や社会保険加入者への一時金支給等も行つて

きている。来年度からは、会計年度任用職員制度により、身分の保証もされる予定である。

専門の正規職員が少ないとの声があるが、採用計画は順当か。

(答弁) これからも有資格者を配置し、入所者の安全・安心を確保した運営を心がけていきたい。

平成30年度決算を認定

平成30年度の一般会計及び各特別会計決算は、決算審査特別委員会に付託され、最終本会議で決算審査委員長報告（7面に記載）があり、採決の結果、8会計の全てが認定されました。

なお、各会計の決算状況は次のとおりであり、決算委員会では各種滞納額について、各委員から集中質疑がなされました。

平成30年度の各会計決算

会 計 名	歳 入 総 額 (A)	歳 出 総 額 (B)	差 引 額 (A－B)
一 般 会 計	31億8705万6千円	30億5590万4千円	1億 315万2千円
(各特別会計)			
簡易水道事業	8184万3千円	7909万1千円	275万2千円
国民健康保険	2億2218万5千円	2億1858万3千円	360万2千円
大和診療所	9340万9千円	8460万1千円	880万8千円
介護保険	2億7445万9千円	2億6970万5千円	475万4千円
集落排水事業	2億8626万5千円	2億8105万9千円	520万6千円
大和の園	1億6453万3千円	1億5869万2千円	584万1千円
後期高齢者医療	3194万4千円	2917万6千円	276万7千円
合 計	43億4169万8千円	41億7681万4千円	1億6488万4千円

※（差引額は令和元年度予算へ繰越）

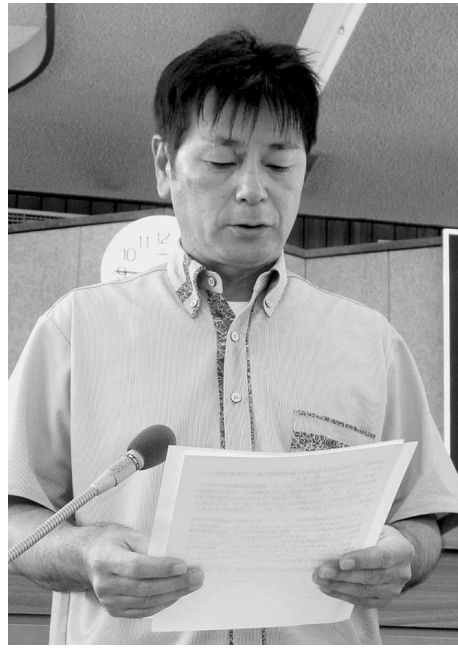
過去7年間の滞納額推移（未納額）

（単位：万円）

種別 年度	村 民 税	固定資産税	住宅使用料	国民健康 保 險 税	そ の 他 (水道料・ 介護保険料等)	滞納額合計 (一般・特別 会計の合計)
24	324	370	925	936	170	2,728
25	113	299	1,060	807	186	2,465
26	55	159	973	744	176	2,107
27	58	94	1,117	669	195	2,133
28	71	95	1,095	561	201	2,023
29	42	61	1,045	457	204	1,809
30	20	59	1,078	447	229	1,833
前年度の 比較	22万円減	2万円減	33万円増	10万円減	25万円減	24万円増

- 29年度と30年度を比較すると住宅使用料の滞納額が突出しています。住宅利用者の不公平感をなくすために引き続き村民の協力が得られるよう努力していただきたい。

平成30年度決算審査委員長報告



委員長報告を読み上げる
重信安男 委員長

決定いたしました。

一般会計及び特別会計において概ね良好な行財政運営ですが、毎年指摘事項である滞納整理や不納欠損処理について、滞

納者や連帯保証人に対し、これ以上滞納を増やさなような抜本的な対策を講じ、各課が連携し滞納対策を行い、住民に不公平感を与えない方策も徹底してほしいとの意見が出ました。

まず、一般会計において、本村の農業発展や農家の生産意欲の拡大のためにも、スモモフェスタ以外に農業祭のようなイベントを開催したらどうかとの意見に対して、現在行っているイベントを軸に、農林水産物の時期

に合わせたイベント等の開催も考えていきたいとの答弁がありました。

次に、観光客が本村を訪れる時、商店や飲食店が少ないが、世界自然遺産登録を見据え、行政はさらなる商工へのバック

アップが必要ではないのかとの意見に対し、今後、行政と商工会が連携を強化し、村民や観光客に不便を生じさせないよう、村内の商店などに助成策を講じていきたいとの答弁がありました。

平成30年度

決算審査特別委員会

委員長 重信 安男

決算審査特別委員会に付託を受けました、認定第1号、平成30年度大和村一般会計歳入歳出決算認定及び、認定第2号から認定第8号までの平成30年度各特別会計歳入歳出決算認定の審査を3日

間の日程で行いました。

9月11日の事業箇所の現地調査から始まり、9月17日及び18日の審査において、村長以下、関係職員の出席を求め、提出された決算書や主要施策成果表及び監査委員の見書などをもとに審査を行い、本委員会に付託された8件の決算をいずれも認定すべきものと



委員からの質問に答える職員

また、世界自然遺産登録を見据え、本村の夕日が綺麗に望める嶺山公園からふれあいパーク戸円にかけてのサンセットロード開拓について、今後どのように考えているのかとの意見に対し、今後、



緊張した中での決算審査特別委員会

地主との交渉を行い、サンセットロードを早めに完成させたいとの答弁がありました。

次に、本年の3月の予算委員会において、まほろば館と生産者間でうまく連携が取れていないと

いう意見があったが、現在、生産者とまほろば館との連携がうまく取れているのかとの意見に対し、生産者とまほろば館スタッフの連携が担当職員以上に取れており、農産物の取扱高も増えているとの答弁がありました。

また、今後まほろば館の農産物等の売り上げを伸ばしていくためにも、ホームページや地元ラジオを積極的に活用し、生産者の意欲向上が図れるような方策はないのかとの意見に対し、現在、ホームページのフェイスブックにより情報発信を行っているが、今後、地元のラジオを効果的に活用したり、売れ筋の農産物をその都度農家へ報告を行うなど、生産者との連携の強化により意欲向上を図っていききたいとの答弁



大和の園の現地調査

がありました。

次に、民泊事業に対して、今後どのような支援を行っていくのかとの意見に対し、大和村まるとと体験協議会において、書類作成等の事務的支援や先進地視察などを行い、

民泊開業支援を効果的に行いたいとの答弁がありました。

また、現在、農産物に対して市場集荷は行っているが、漁業の発展や活性化、漁民の意欲向上のために、漁獲物に対し

でも市場集荷等の助成を行ってはどうかとの意見に対し、漁民の意見を取り入れながら今後検討していきたいとの答弁がありました。

年度も、前年度同様、各特別会計は全体的に黒字傾向にあり次年度以降に つなげていただきたいと思っています。

次に、各特別会計の決算状況について、平成30

まず、大和診療所特別会計において、医師の診療が村民から信頼を得て



残土場の現地調査

いるが、医師の将来における構想を、行政が効果的にバックアップしていく必要があるのではないかと、意見に対し、医師の構想と行政の構想をうまく取り入れて、より村民に信頼していただける

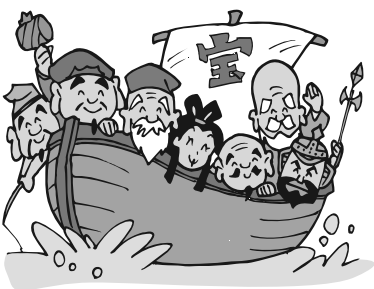
診療所にしていきたいとの答弁がありました。また、大和の園特別会計において、先進情報を職員間で共有していく必要があるのではないかと、意見に対し、研修会や先進地視察を積極的に行



決算審査現地調査

い、最先端の情報を得て、園の設備や備品等のハー ド面や、入所者が最良の介護を受けれるようなソフト面についての情報共有も強化していきたいとの答弁があった。

最後に、当委員会では、委員長の報告と併せて、議会の意見を取りまとめていますので、当局におかれましては意見書として取り上げていただくよう申し上げ、平成30年度決算審査特別委員会の委員長報告を終わります。



第3回 定例会

令和元年第3回（9月）定例会が9月10日～9月25日（16日間）まで開かれ、平成30年度一般会計及び各特別会計の決算認定をはじめ、令和元年度補正予算や条例改正などの議案が審議され、すべての議案が可決されました。

可決された議案は、次のとおりです。

決算認定

平成30年度一般会計及び各特別会計決算の審査は、決算審査特別委員会（委員長 重信安男）に付託され、3日間にわたる慎重な審査を経て、8会計決算で全会一致で認定されました。

（※ 決算認定関係は7面～9面に記載）

周年記念式典への八月踊参加助成や湯湾釜分校の保育所改修費等を予算計上しました。

主な補正は次の通りとなっています。

予算

●令和元年度 一般会計 補正予算（第2号補正）

補正額

1億3356万7千円

増額

31億383万9千円

予算総額

（補正内容）歳入においては、地方交付税（普通交付税）や前年度決算に伴う繰越金などが増額され、歳出においては、財政調整基金への積み立てをはじめ、中部奄美会20

（歳入）

○財政管理費（財政調整基金積立金）

1億900万円増

○民生費（湯湾釜分校改修、地域型保育給付費）

664万8千円増

○衛生費（衛生センター汚泥脱水機修繕）

450万円増

○土木費（急傾斜地崩壊対策事業）

700万円減

●令和元年度 国民健康保険特別会計補正予算（第2号補正）

補正額

207万1千円 増額

予算総額

2億3035万4千円

（補正内容）歳入においては、特別調整交付金の減額や前年度決算に伴う繰越金が増額され、歳出

においては、システム改修負担金の増額また大和診療所操出金が減額されました。

（補正内容）歳入においては、システム改修費に

対する補助金の増額や繰入金の減額また繰越金の増額をしました。歳出においては、システム改修費の増額また要支援認定者の短期入所利用があり増額を行いました。

●令和元年度 大和診療所特別会計補正予算（第2号補正）

補正額

750万8千円 増額

予算総額

9103万2千円

（補正内容）歳入においては、特別調整交付金の減額や、前年度決算に伴う繰越金が増額されまし

た。歳出においては、10月からの消費税増税に伴う委託料の増額また予備費を増額を行いました。

●令和元年度 介護保険特別会計補正予算（第2号補正）

補正額

106万3千円 増額

予算総額

2億8393万8千円

（補正内容）歳入においては、システム改修費に對する補助金の増額や繰入金の減額また繰越金の増額をしました。歳出においては、システム改修費の増額また要支援認定者の短期入所利用があり増額を行いました。



●令和元年度 集落排水
事業特別会計補正予算
(第2号補正)

補正額

200万円 増額

予算総額

2億7185万3千円

(補正内容) 歳入におい
ては、東部地区と西部地
区の事業費の調整や繰入
金を増額をしました。歳
出においては西部地区の
工事費を増額しました。

●令和元年度 後期高齢
者医療特別会計補正予算
(第2号補正)

補正額

11万7千円 増額

予算総額

2749万7千円

(補正内容) 歳入におい
ては、繰入金金の減額また
繰越金の増額を行いました。
歳出においては還
付金の発生による増額で
す。

条 例

●大和村会計年度任用職
員の給与及び費用弁償に
関する条例制定

(制定内容)

地方公務員法及び地方
自治法の一部改正により、
臨時職員に支給する給与
について、国の給料表の
内容を根拠とし、雇用す
る者の業種と就労時間に
応じた額を支給する内容
です。

●大和村防災会議条例の
一部改正

(改正内容)

防災会議を開会する際
に、これまでは鹿児島県
霧島市の国分駐屯地の職
員を委員としていました
が、陸上自衛隊奄美警備
隊発足により、より迅速
な連携を図るため、奄美
警備隊職員に委員を変更
するための一部改正です。

●大和村給水条例の一部

改正

(改正内容)

指定給水工事事業者の
適正な資質保持確保のた
め、水道法の改正がなさ
れ、水道事業者は5年ご
とに更新する制度になり
ました。また、消費税増
税に伴い改正を行いました。

●大和村集落排水処理施
設の設置及び管理条例の
一部改正

(改正内容)

一般廃棄物収集運搬業
者及び浄化槽清掃業の許
可の際に、業者が支払う
手数料の消費増率の改正、
また集落排水の使用料に
かかる消費増率税率率の
改正になります。

●大和村印鑑条例の一部
改正

(改正内容)

住民基本台帳法施行令
等の一部改正に伴い、令

和元年11月5日より、住
民票、個人番号カード等
への旧氏の記載が可能と
なりました。また本村が
交付する印鑑証明につい
ても旧氏の記載ができる
ようになりました。

同 意

●大和村教育委員会教育
長の同意について

大和村教育委員会教育
長の任期満了に伴い、起
立採決の結果、賛成5名、
反対2名となり、次の方
が新しく同意されました。

住 所 大和村国直

107番地3

氏 名 晨原 弘久 氏

賛成議員5名

前田・重信・蔵・民・

池田

反対議員2名

宮田・奥田

その他(議員発議)

●核兵器禁止条約に署名、
批准し、唯一の戦争被爆
国にふさわしい核兵器廃
絶に向けた努力を求める
意見書の提出について

●新たな過疎対策法の制
定に関する議会意見書の
提出について

●国立公園ヒエン浜の保
全と戸円集落沖海砂採取
の在り方についての調査
特別委員会の設置につい
て、起立採決の結果、賛
成4名、反対2名、退席
1名となり、調査特別委
員会の設置になりました。

賛成議員4名

前田・蔵・民・池田

反対議員2名

宮田・奥田

退席議員1名 重信

●開饒神社から始まる黒
糖の歴史ストリート(仮
称)の日本遺産登録申請
に向けた検討委員会の設
置を求める決議について

議会の動き

【7月】
【8月】

議会報告会（大柵・議員）

第7回子ども議会（議場・議員）

議会報告会（名音・議員）

市町村政研修会（市民文化ホール・議員）

鹿児島県知事との懇親会（奄美市・正副議長・総務建設副委員長）

大和村戦没者追悼式（防災センター・議員）

議会報告会（大金久・議員）

議会報告会（津名久・議員）

南部議会議員役員研修会（奄美市・正副議長）

ひらとみ祭りさとうきび豊作祈願祭（思勝・議長）

第3回大和村地域公共交通会議（役場・議長）

議会報告会（国直・議員）

議会運営委員会（議員控室）

【9月】

議会報告会（湯湾釜・議員）

議会報告会（今里・議員）

定例会に向けての勉強会（議員控室・議員）

第3回大和村議会定例会（開会）

決算審査特別委員会（現地調査）

定例会（一般質問）4名

大和中学校体育祭（大和校・議員）

決算審査特別委員会（一般会計）

決算審査特別委員会（一般・特別会計）

定例会・最終本会議（閉会）

村内小学校運動会（議員）

議会報告会（大和浜・議員）

大和村議会議員政治倫理審査会設置協議会（議員控室・委員）

議会報告会（思勝・議員）

大和村議会議員政治倫理審査会（議員控室・委員）

全員協議会（議員控室・議員）

第4回大和村地域公共交通会議（役場・議長）

南部議会議員役員研修会（瀬戸内町・正副議長）

村民体育大会（大和校校庭・議員）

編集後記

村民の皆さん明けましておめでとうございます。天候に恵まれた正月三日ではなかったでしょうか。皆様におかれましては、も子年がすばらしい一年になりますことをお祈りいたします。議会の活動としまして、議会報告会を村内各集落で開催いたしました。集落の皆様、の素晴らしい意見や心温まる励ましのことがあり、感動しました。皆様の意見や要望をこれからの議会活動に生かし、反映させていきたいと思っております。改めまして本年もよろしくお願いいたします。

議会だより

広報委員長 民 文忠

広報委員 重信 安男

宮田 到

池田 幸一

議会を傍聴しましょう

議会の定例会は年4回（3月、6月、9月、12月）

行われます。 お問い合わせ先 ☎57-2216（直通）